

学生が初めての実習で「目の当たりに したもの」, 「理解したもの」[※]

迫 田 圭 子^{※※}

1 はじめに

平成9年度の人間福祉学科の保育所実習の第1歩は、教員引率のもとで行った見学実習であった。大学に入学したばかりの5月、保育所に出かけ、初めて見る保育所、ほとんど接したことのない子ども、そして保育者に目を見張り、初めてづくしの強烈な体験を行った。その体験を通して学んだものは具体的に何であったかを分析してみることにした。

2 研究方法

① 保育園別写真

見学実習は、平成9年5月に1日のうちの午前中のほぼ2時間実施した。実習時に教員が写真を撮影した。その写真を5つの保育園別に分類しA, B, C, D, E園とし、それぞれに通し番号を付けた。(写真の記載の日付は、カメラ操作ミスから、別の日付が記載されている。)

② 実習記録の原文

写真横の文章は、見学実習時、各園5人の学生が記載した実習記録の原文である。学生が何を感じ、何を学んだかを明確にするために、学生の記録の中から、写真と対応して実習記録の原文を出来るだけ忠実に載せた。

③ 様式

その日の各保育園の保育活動にそって、できるだけ時間軸に忠実に並べた。保育活動を、教員撮影の写真と並列化することで、実習体験を具体化してみた。また、写真と並列化出来ない文章や、実習を終えて記載した感想の文章を、各保育園の最後に「〇〇保育園のまとめ」として集めてみた。初めて体験した実習の新鮮な感動を綴ったものである。

※What did the students "Look at", and "Understand" at the first practical training?

※※Keiko Sakoda 立正大学社会福祉学部人間福祉学科

キーワード：子ども理解、保育者理解、保育環境の理解

学生が初めての実習で「目の当たりにしたもの」、「理解したもの」(迫田)

④ 実習中に「目の当たりにしたもの」の分類。

学生が実習園でまず何に注目したのか、何を通して考えたのかを、5つのキーワードに分類した。

- (1) 天候
- (2) 子どもの姿
- (3) 実習生の係わり
- (4) 保育者の係わり
- (5) 環境構成

である。学生の文章をこの5つのキーワードに分類し、写真と文章の間にそのキーワードを加えた。

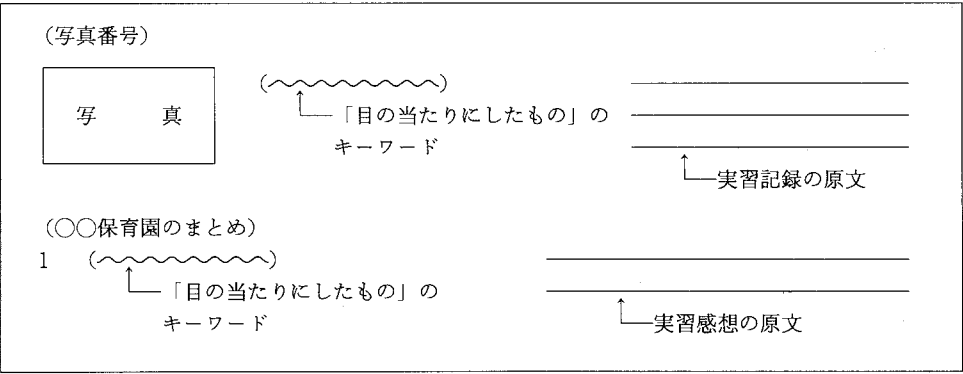
3 実習園別実習体験の再現

では、A, B, C, D, E各保育園の写真、そして学生が「目の当たりにしたもの」のキーワード、学生の実習記録の原文を通して、実習の実際を再現してみよう。

実習の実際のスタイルを図式化すると、(図1)となる。

(図1)

(スタイルの解説)



(A保育園 No.1)



(天候)

晴れ。晴れではあったが、清々しい。遊んでいるとポカポカしてくるような天気だった。

(実習生の係わり)

実習生の私「ブランコを貸してあげて。待ってるよ」
子ども「いいよ、この子は小さいから、一人じゃ危ないよ」
子どもたちは、ほかの子の心配もしている。

(A保育園 No.2)



(子どもの姿)

園庭ではほとんどの組の子どもが入り交じって遊んでいる。

(子どもの姿)

帽子はクラス別の色の帽子。つばの所に名前。体操着は、汚れてもいいためなのか。

(子どもの姿)

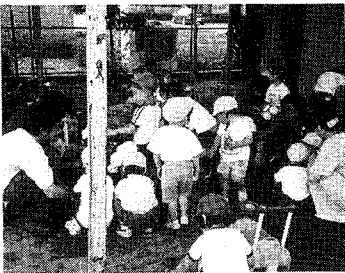
靴下は、履いていない。
上の子が小さい子の面倒を見ている姿がよく見られた。上の子が保育者のように振る舞っていることもある。

(A保育園 No.3)



(保育者の係わり) 保母さんは、子どものそばにいて、一緒に遊んでいるだけでなく、さりげなく色々な所に目をやって、一人で遊ぶ子どもをなくすようにしているようだ。

(A保育園 No.4)



(実習生の係わり) 4, 5人で砂を集めて、何か作っている。

自分がその中に入ろうと思いい、声をかけ、自己紹介をすると、周りに集まってくる。名前を覚えてくれた。1人の男の子が歩いてきて、入れて欲しそうに見ていたの、声をかけるととても喜んだ。照れ屋でうまくしゃべれない子には、こちらの方からやさしく話しかけていけば、向こうも気軽に話せるのではと思い、その子たちとたくさん話を話した。

(A保育園 No.5)



(環境構成)

アスレチック系の遊具で、たくさん遊ぶことで、体が鍛えられるのではないかな。

(環境構成)

園庭にはたくさんの遊具があった。

(A 保育園 No.6)



(環境構成)

(環境構成)

園庭には、花がたくさんあった。

水道には、園児の顔を描いたタイルが付いている。

保育園の周りのフェンスには、子どもが描いた動物などの絵が付いていた。

(A 保育園 No.7)



(子どもの姿)

5歳児クラスの教室。4歳児と5歳児と一緒に歌を歌っている。きちっと整列をして歌っている。

「手のひらを太陽に」を歌う。最初に歌だけを歌う。次に振りを付けて歌う。

園歌を歌う。

(A 保育園 No.8)



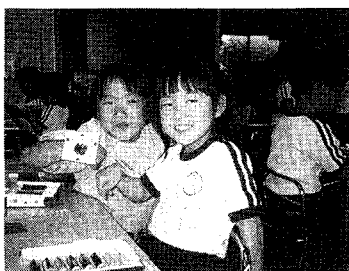
(子どもの姿)

5歳児クラス。時計作り。4人ずつのグループになり、自分でイスを持ってきて座る。

(保育者の係わり) 保育「今日はこの時計を、みんなが持ってきてくれた牛乳パックで作ります」とあらかじめ作ってあった見本を見せて説明する。

「お当番さんは、自分のグループの分を取りにきてください」と言っていた。

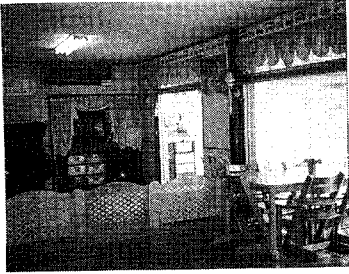
(A 保育園 No.9)



(子どもの姿)

時計に数字のシールを貼り、腕輪の部分に色を塗る。先生の所に行き、腕輪の部分をホッチキスで止めてもらう。

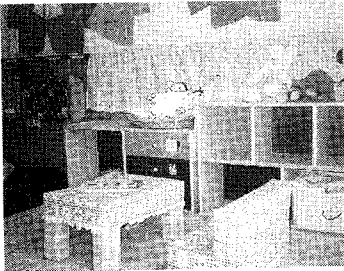
(A保育園 No.10)



(環境構成)

乳児クラスです。幼児クラスとは一変して、柔らかく、かわいく、温かい雰囲気 of 部屋です。

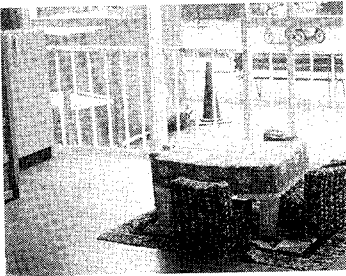
(A保育園 No.11)



(環境構成)

手作りのテーブルとイスです。牛乳パックで作ったかわいいテーブルとイスです。引き出しも、カーテンも、イスもテーブルも、木綿の布で出来ていました。

(A保育園 No.12)



(環境構成)

木綿のカーペットの上に、木綿のテーブルとイスがあり、思わずみんなでスケッチをしました。

(A保育園 No.13)



(環境構成)

(子どもの姿)

(環境構成)

乳児の食事は、木製のテーブルとイスでした。

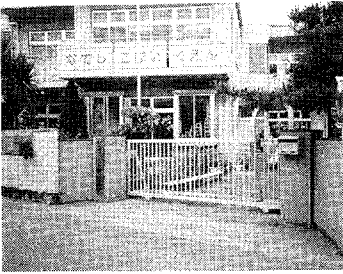
赤ちゃんが落ちこちないように、ガードがあった。

離乳食を見たのは、初めてでした。

(A 保育園のまとめ)

- 1 (実習生の係わり) 一人ひとりに声をかけて接することができるか心配だったけれど、子どもたちが、私の緊張を解いてくれた。
子どもの視点に立つと、何でもないことまで楽しく思えてしまうのが、不思議だった。
- 2 (保育者の係わり) 保母さんは、いつも目を配り、たえず動いていた。
- 3 (子どもの姿) 子どもたちも安心しているせいか、笑顔が絶えなかった。
- 4 (実習生の係わり) 自分がやさしい気持ちで接すれば、子どももそれに応えてくれることに気づいた。
- 5 (子どもの姿) 子どもは、かわいいというだけでなく、きちんと何でも出来るんだという事を知った。
- 6 (実習生の係わり) 僕は子どもたちと話すとき、照れずにうまく話せるか心配だったが、子どもの顔を見ていたら、そのような事は頭から消えていた。子どもの笑顔は、不思議な力を持っている。

(B 保育園 No.1)



(天候)

天候：日差しが強い。よく晴れていた。
駐車場が広い。遠距離の通園が多いのか。

(環境構成)

(環境構成)

門は子どもが出ていかにように、閉まっている。
門の作りが頑丈である。ミラーは、運転手に子どもの飛び出しがわかるように付いている。

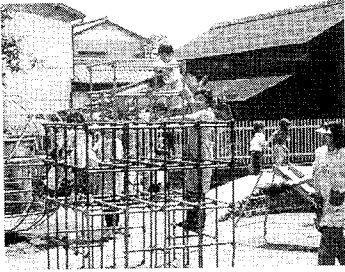
(B 保育園 No.2)



(環境構成)

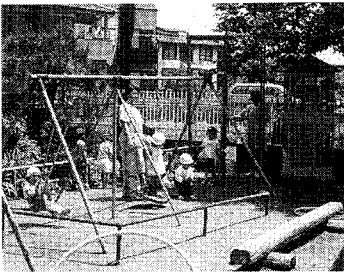
建物に窓が多い。日当たりを良くするためか。

(B保育園 No.3)



(保育者の係わり) ジャングルジムは、落ちたら危ないから、保母がいつも付いている。

(B保育園 No.4)



(環境構成)

滑り台が多い。人気があるのか。

(保育者の係わり)

一見すると自由時間のように見えるが、常に保母さんは目を光らせ、次のことを考え、行動している。僕が見ていた間では、一度も動きを止めなかったように思う。保母さんのそういう行動は、自然に出てくるものではないと思った。女の子はすごいと思った。でも、保父さんが説明の時に言っていた、男ならではのメリットもあるようだ。

(B保育園 No.5)



(子どもの姿)

子どもたちは、砂遊び、砂場遊び、どろんこ遊び、水遊びが好きだ。

(保育者の係わり)

外で遊んでいるペンギン組の子どもたちを、保母さんが集める。子どもたちは、保母さんの顔を知っているからかもしれないが、言うことを聞く。連れていくの

(実習生の係わり)

もうまい。しかし、僕が誘うと逃げていく。

(B保育園 No.6)



(実習生の係わり)

無理矢理にやらずに、さりげなく、うまく誘うといい、と言われた。なるほど、友達がいなくなるのに気づくと、残りの子どもたちも自分から部屋に戻る。

(B保育園 No.7)



(子どもの姿)

子どもたちは、自分の脱いだ靴は自分でしまう。靴に付いた泥を払ってからしまう。

(B保育園 No.8)



(子どもの姿)

子どもが味噌汁をこぼす。僕はびっくり。

(保育者の係わり) 保母さんはとても冷静。「熱くなかった?」と聞いてから着替えさせる。

(子どもの姿) 食欲のない子どもがいる。保母さんはやさしく食べさせる。

(保育者の係わり) お箸とフォークを選ばせた。「やっぱりフォークがいい」と子どもが言うと、すぐに換えてあげる。

(B保育園 No.9)



(環境構成)

0歳：じゃがいも、ほうれん草、人参のペースト、しゃけフレック、スープ、おにぎり、おもゆ(3分と7分)、麦茶

1歳：切り干し大根、ソーセージ、味噌汁、グレープフルーツ、ごはん

(保育者の係わり) ごはんをあげるときは、子どもの顔を見てあげる。子どもの食べるペースに合わせて、口に入れる。話しかけながらあげる。

(B保育園 No.10)



(子どもの姿)

押入れのような部屋が、子どもは好きらしい、2歳のクラス。部屋は全体的にでこぼこがなく、すっきりしていた。

(環境構成)

天井に扇風機、窓に柵があり、風通しがいい。窓に柵、ベランダにも柵があり、落ちないようにしている。

(B保育園 No.11)



(子どもの姿)

子どもは石鹸で手を洗い、自分のタオルで手を拭く。

保母に言われなくても、きちんと石鹸で手を洗う。

(環境構成)

水道がクラスの入り口に近い所にある。

(B保育園 No.12)



(子どもの姿)

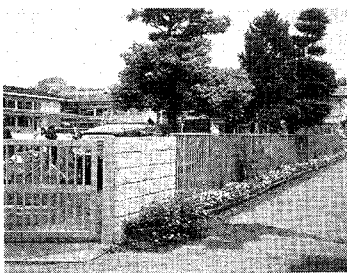
箸の持ち方に個人差が見られた。

手でつかんで食べる子もいた。

(B保育園のまとめ)

- 1 (環境構成) 保育園は、子どもが過ごしやすいように作られている。
- 2 (保育者の係わり) 先生も子どものことを一番に考え、行動している。
- 3 (保育者の係わり) たくさんの子どもの目が行き届くように、目配りをしている。
名前も全部覚えていたし、何人かの子どもに一人の先生が付いていた。
子どものまとめ方がとても上手だった。
- 4 (実習生の係わり) 自己紹介の時、僕は緊張した。僕の言った言葉を保母さんは子どもにわかりやすく、ゆっくりと言って聞かせた。

(C保育園 No.1)



(天候)

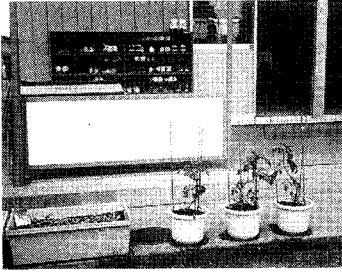
天候：夏のよようにまぶしい日差し。

(環境構成)

砂場の上の藤棚の中に、鳩の巣がある。
花や木や草などがたくさん植えてあった。

(C 保育園 No.2)

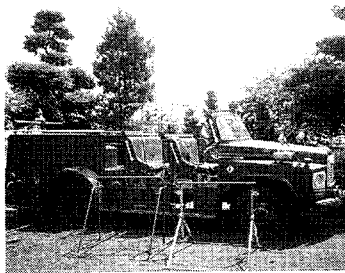
(環境構成)



どの部屋にも、植物が2, 3鉢置いてあってとても自然な感じで、いいなと思った。
鉢植えの野菜も、いいアイデアだと思った。

(C 保育園 No.3)

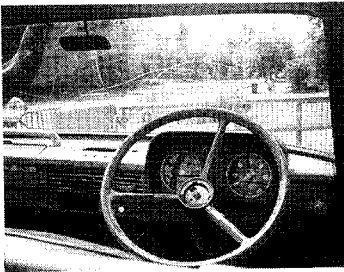
(環境構成)



園庭の中央に、本物の消防自動車があった。
うしろの荷台は、砂場道具のバケツやシャベルなどを片づける場所になっている。

(C 保育園 No.4)

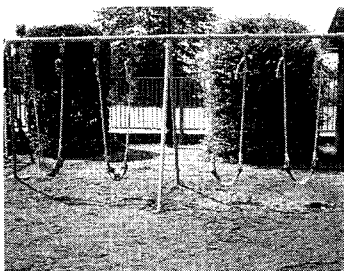
(環境構成)



消防自動車の運転席は、園内を見渡せる場所だ。

(C 保育園 No.5)

(環境構成)



ブランコが面白い。ひもとビニールのようなもので出来ている。

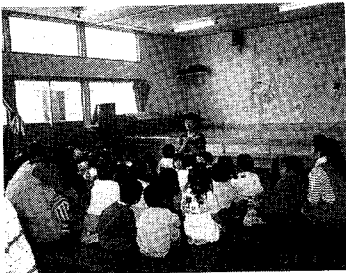
(C 保育園 No.6)



(環境構成)

小動物の小屋が並んでいる。ちゃぽ小屋、にわとり小屋，うさぎ小屋。

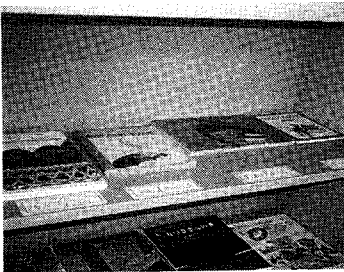
(C 保育園 No.7)



(保育者の係わり) 年長児に，園長先生が素話をする。

園長先生が中央に座り，子どもたちは4列に並んで，園長先生の話聞く。クラスの担任の先生は，右手と左手に分かれて座る。ガタガタと落ち着きのない子どもに，先生が後ろからそっと近づいて，「静かにしようね」と言ったり，そばに先生が座って，話を一緒に聞く。

(C 保育園 No.8)



(環境構成)

絵本棚と机とイスが用意されていて，いつでも本が読めるようになっている。

(実習生の係わり) 本を読んで子どもに言われる。「はずかしがり屋のかぼちゃ」と「小すずめのぼうけん」を読む。

(C 保育園 No.9)



(子どもの姿)

ハンディを持っている子どもには，専用のイスがある。これは，食事を取ったりするのに使う。ずり落ちないように前に棒が付いている。

(C 保育園 No.10)



(実習生の係わり) 0歳の部屋で、食事を食べさせてみた。
(環境構成) テーブルの上に花があり、テーブルクロスがかかっていた。

(C 保育園 No.11)



(子どもの姿) 2歳児クラス・タンポポ組は、泥で遊んだ。
(保育者の係わり) 着替えは、担任の保母が一人ずつ部屋に行って着替えさせる。

(C 保育園 No.12)



(環境構成) 庭には、シャボン玉ができる準備が朝から出きっていた。
(子どもの姿) それぞれ自分のやりたいシャボン玉を作ったプラスチックのコップ、ストロー、プラスチックの皿、針金の輪など。

(C 保育園 No.13)



(子どもの姿) 部屋に入らない子どもに、保母が「今何をする時間かな」という問いかけをする。子どもは自分から部屋に入る。

(C園のまとめ)

1 (子どもの姿)

子どもは、私が思っていたより、自分で考え、行動をするという自主性があることが分かった。

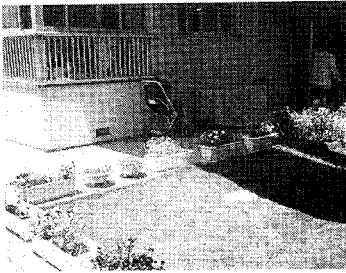
2 (保育者の係わり)

園長先生の素話：「泣き虫のみよちゃん」が終わって、子どもたちに問いかけると、ポンポン答えが返ってくる。園長先生：「泣きたい時はどうする？ 友達が泣いているときはどうする？」。子ども：「私は我慢して泣かない。お友達が泣いていたら、どうしたのと聞いて、先生の所へ連れていってあげる」など。

3 (保育者の係わり)

私たちは、園長先生が「人間に興味を持ち、子どもに幸せだと感じさせる人になってください」と言われたことが印象深い。子どもたちを見下さずに、同じ目線で自分の子ども時代に照らし合せ、子どもを理解できる保母になりたいと思う。

(D保育園 No.1)



(天候)

天候：雲ひとつない晴天。風もなく、太陽がまぶしい。

(環境構成)

玄関を入ると、私たちのために、スリッパが並べられていた。廊下には、私たちの下履き用の靴置きスペースが新聞紙で作られていた。

部屋に入ると、私たちの人数分のイスと机の上には小花、そして保育所の葉などの資料が準備されていた。

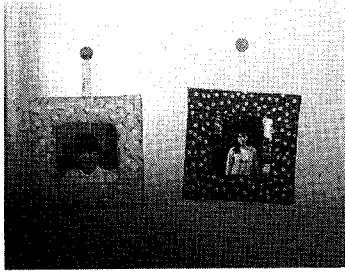
(D保育園 No.2)



(環境構成)

やさしい心遣いの人たちばかりの保育園である。それぞれの先生が、かわいいエプロンをつけていて、個性的な感じがした。

(D 保育園 No.3)



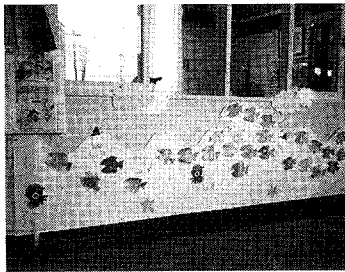
(環境構成)

部屋の入り口には、先生の写 真 が あ っ た。かわいい花柄の布で縁取られた先生の写真。

(環境構成)

保育園の玄関には掲示板があり、献立表や保育園便りが貼ってあった。

(D 保育園 No.4)



(環境構成)

クラスの前の廊下は、楽しく飾ってあった。

(環境構成)

折り紙で折ったかぶとをかぶった子どもの絵が上手でした。

(D 保育園 No.5)



(子どもの姿)

自分の服が汚れたら、ビニールの袋に入れ、新しい洋服に着替える。

(環境構成)

他のクラスでは、子どもの汚れ物を入れるかごがあり、園長先生は、「子どもは汚れて当然」と言われた。子どもの着替えの準備がどの部屋でもされていた。

(D 保育園 No.6)



(子どもの姿)

五月生まれのお誕生会。保育所の子ども全員が一つの部屋に集まり、輪になって座る。

(子どもの姿)

朝の歌を全員で歌う。とてもきれいな歌。みんなで朝のあいさつ。

(保育者の係わり)

歌「歯ブラシ君と虫歯君」、「…長靴君」を保育さんは、子どもたちと一緒に歌う。体や手足を動かす所は、見本となって大きくやって教える。

(D 保育園 No.7)



(保育者の係わり) 5月生まれの子の紹介。名前を聞く、年齢を聞く、大きくなったら何になりたいか聞く。

将来のやりたい夢を言うと、夢の内容が入った歌をみんなで歌う。

(保育者の係わり) 園長先生から、プレゼントをもらう。保育者は、大きなしぐさで拍手をし、ほかの子どもたちに見せる。誕生日の子は、スキップをして回る。友達の側までくると、はずかしそう。

(D 保育園 No.8)



(保育者の係わり) 誕生日の子のお母さんから、話を聞く。友達がいなかった頃のこと、ほかの保育園からこの保育園に移ってきたこと、親の参加の行事が多くて喜んでいること、夜間保育も経験したことがあること、転勤してきたことなど。

(子どもの姿) お母さんにペンダントのプレゼントを贈る。

(保育者の係わり) 記念写真を撮る。

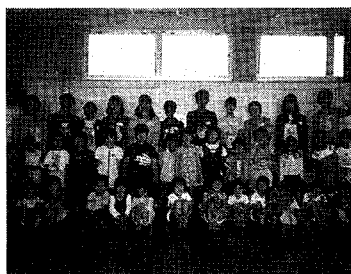
(D 保育園 No.9)



(保育者の係わり) みんなでゲームをして遊ぶ。「フルーツ

(保育者の係わり) バスケット」を、子どもたち、先生、親、実習生が一緒にする。

(D 保育園 No.10)



(子どもの姿) 実習生の私たちにもプレゼント。

子どもたちが、実習生の私たちの首に一人ずつプレゼントをかけてくれます。

(保育者の係わり) 写真撮影をする。

(D 保育園のまとめ)

1 (保育者の係わり)

一番驚いたことは、誕生会です。誕生日の子の親が、全員来ていました。一見当たり前の事かも知れませんが、すごいことだと思います。目に見えない信頼関係を感じました。誕生会はもちろんのこと、ふつうの日も保育所を見学できるようになっているようで、父母の方々が自然に安心して預けられる気持ちになり、さらに、保育所を支援する事が出来る。家庭の保育と保育所の保育がつながりを持っている。

2 (子どもの姿)

障害を持つ子どもと健常児と一緒に生活したり、年の違った子どもと接したりすることで、やさしさや思いやりが育つと思う。

普段は働いているお母さんが、誕生会に来てくれて、とてもうれしそうな子どもたちの姿が心に残った。

3 (保育者の係わり)

「～しなさい」などの命令はせずに、保母さんが自らやってみせることで、子どもの興味、関心を引きつけることを知り、とても勉強になった。

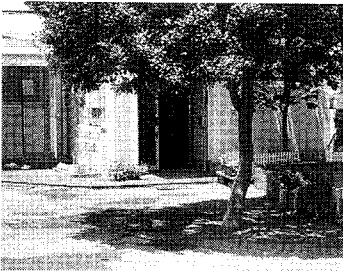
4 (保育者の係わり)

所長さんをはじめ、保母さんたちが大変親切にしてくださったので、肩の力を抜いて実習に取り組むことができた。

5 (環境構成)

保育環境を考慮していることを実感した実習だった。

(E 保育園 No.1)



(天候)

天候：雲ひとつない快晴。日差しが強い。花や木がたくさんあり、花にじょうろで水をあげる子どももいた。花の色は明るく、きれいだった。

(環境構成)

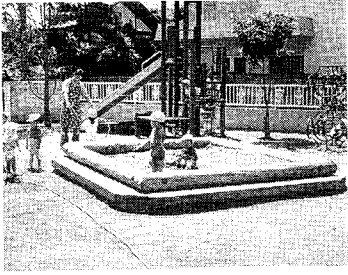
(E 保育園 No.2)



(環境構成)

小さな小屋が園庭にあった。

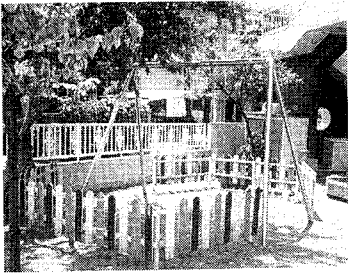
(E 保育園 No.3)



(環境構成)

園庭の真ん中に大きな砂場が、大きな木の枠で作られていた。砂遊びを大切にしているのが伝わってきた。

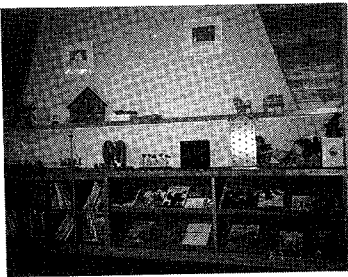
(E 保育園 No.4)



(環境構成)

ブランコには木の柵がしてあり、園長先生(保育者の係わり)が常に立っていて、ブランコの方を気遣いながら、全体の様子を見ていた。

(E 保育園 No.5)



(環境構成)

園舎に入ると、玄関の横の部屋が絵本の部屋だった。絵本が見えるように置いてあった。

(E 保育園 No.6)



(子どもの姿)

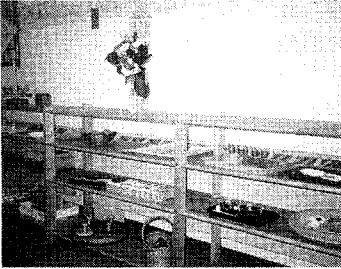
3歳、4歳、5歳児の混合クラスが二つある。一つが海の部屋、もう一つが星の部屋。

(環境構成)

それぞれのクラスには、それぞれのロッカーが置いてあり、子どもたちは朝保育所に来ると自分で自分の荷物を入れる。

学生が初めての実習で「目の当たりにしたもの」、「理解したもの」(迫田)

(E 保育園 No.7)



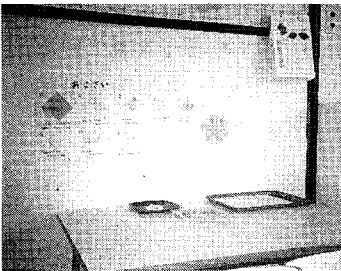
(環境構成)

星の部屋と海の部屋は自由に入出りができる。自分で自分の活動を見つけるための意欲を出させる。

(環境構成)

自分が何をやりたいかを見つけられるように、教材(ボタン、積み木など)が、いろいろ置いてあった。

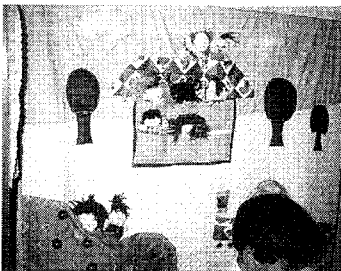
(E 保育園 No.8)



(環境構成)

折り紙のあじさいが自由に出来る机とイスがある。

(E 保育園 No.9)



(環境構成)

それぞれの子どもの自分の人形。

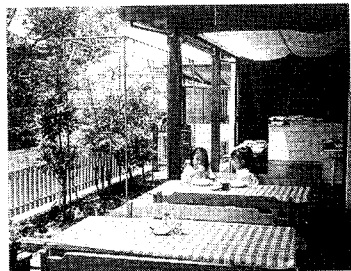
(E 保育園 No.10)



(環境構成)

どの部屋も日当たりが良い。
机やイスなど木製で、六角形であったりと、全体的に明るく楽しい感じのする建物であった。

(E 保育園 No.11)



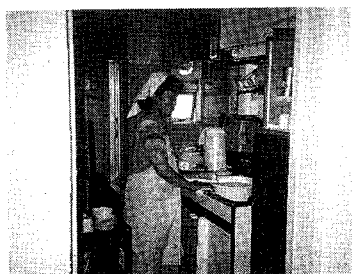
(環境構成)

食堂のテラスは、風がたくさん入ってきて、気持ちよくごはんが食べられる。

(子どもの姿)

調理室から料理のにおいが入ってくる。自分で好きなものを選んで食べる。

(E 保育園 No.12)



(保育者の係わり) 0歳、1歳の子どもたちに、保母さんはいろいろ声をかけていた。「○○ちゃん、片づけられたかな?」、「○○ちゃん、今日はいっぱいお姉さんがいいね」、「○○ちゃんお手手きれい、きれい、今日は○○ちゃんの大好きなカレーだよ」、「○○ちゃん、今日はどうしたのかな?、恥ずかしい?」など

(E 保育園 No.13)



(環境構成)

離乳食(スープ、おかゆ、野菜、ミルクなど)が作られていた。

(保育者の係わり) 保母さん一人が、二人の園児を食べさせる。

(保育者の係わり) 「○○ちゃん、人参さんも食べようね」、「ああおいしい、おいしいね」と話しながら食べさせる。

(E 保育園のまとめ)

1 (環境構成)

季節を意識して、あじさいの花が階段に飾られていた。廊下や部屋の色々な所に、花や小物が置いてあり、明るい雰囲気とする。

それぞれの部屋に、先生たちの写真がきれいに飾ってある。

2 (実習生の係わり)

子どもと一緒に遊んでしまうと、体がもたないと思った。その点、保母さんは子どもの扱いがさすがに上手だと思った。子どもたちに囲まれてわいわいと相手をしていると、子ども

学生が初めての實習で「目の当たりにしたもの」、「理解したもの」(迫田)

たちに好かれて、一見よく見えますが、それに夢中になりすぎて、回りが見えなくなったり、時間を気にしなくなったりと、反省する点がとても多かった。

4 「目の当たりにしたもの」から「理解したもの」へ

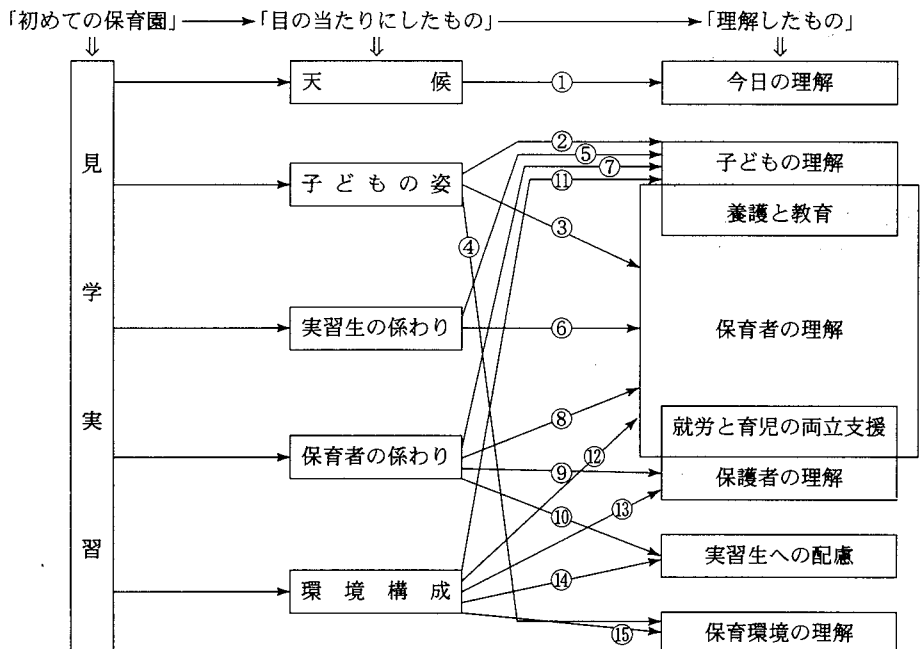
学生が實習園で「目の当たりにしたもの」を5つのキーワードに分類してみたが、彼らがその注目したものを通して何を感じ、何を学び、何について理解を深めたのかを實習記録の原文から考察し、分類してみた。はっきり分類出来ない箇所もあったが、主要因を文中からくみ取ることで、6つのキーワードに分類した。

- (1) 今日の理解
- (2) 子どもの理解
- (3) 保育者の理解
- (4) 保護者の理解
- (5) 実習生への配慮
- (6) 保育環境の理解

「初めての保育園体験」から「目の当たりにしたもの」、そして「理解したもの」を図式化すると下記ようになる。

(図2)

体験から理解へ



多様に広がる体験のラインを、①②③……と番号で結んでみると、(図2)(図3)のよう
に、15のラインとなる。

(図3)

「注目したもの」から「理解したもの」へ

		「注目したもの」				
		天 候	子どもの姿	実習生の係わり	保育者の係わり	環 境 構 成
「理解したもの」	今日の理解	①				
	子どもの理解		②	⑤	⑦	⑪
	保育者の理解		③	⑥	⑧	⑫
	保護者の理解				⑨	⑬
	実習生への配慮				⑩	⑭
	保育環境の理解		④			⑮

5 実習体験の15とおりのラインの分析

実習記録の原文それぞれが15とおりのラインのどれに属しているかは、(図4)にまとめてみた。

学生が初めての実習で「目の当たりにしたもの」、「理解したもの」(迫田)

(図4)

実習体験を15の理解へ

A 保育園		B 保育園		C 保育園		D 保育園		E 保育園	
A-1	①	B-1	①	C-1	①	D-1	①	E-1	①
	⑤		⑬		⑤		⑭		⑮
A-2	②	B-2	⑮	C-2	⑮	D-2	⑫	E-2	⑮
	④		⑮	C-3	⑮	D-3	⑬	E-3	⑮
	②	B-3	⑧	C-4	⑮		⑬	E-4	⑮
A-3	⑧	B-4	⑪	C-5	⑮	D-4	⑮		⑧
A-4	⑤		⑧	C-6	⑮		⑪	E-5	⑮
A-5	⑪	B-5	②	C-7	⑧	D-5	④	E-6	④
	⑮		⑦	C-8	⑮		⑪		⑪
A-6	⑮		⑤		⑤	D-6	②	E-7	⑪
	⑪	B-6	⑤	C-9	④		②		⑪
A-7	②	B-7	②	C-10	⑤		⑧	E-8	⑪
A-8	②	B-8	②		⑮	D-7	⑧	E-9	⑪
	⑧		⑧	C-11	②		⑧	E-10	⑮
A-9	②		③		⑧		②	E-11	⑪
A-10	⑮	B-9	⑧	C-12	⑮	D-8	⑨		②
A-11	⑮		⑪		②		②	E-12	⑧
A-12	⑮		⑧	C-13	③		⑨	E-13	⑫
A-13	⑮	B-10	④	まとめ 1	②	D-9	⑧		⑧
	④		⑮	まとめ 2	⑦		⑩		⑧
	⑪	B-11	②	まとめ 3	⑩	D-10	②	まとめ 1	⑮
まとめ 1	⑤		⑮				⑩	まとめ 2	⑥
まとめ 2	⑧	B-12	②			まとめ 1	⑨		
まとめ 3	②	まとめ 1	⑮			まとめ 2	②		
まとめ 4	⑤	まとめ 2	⑧			まとめ 3	⑦		
まとめ 5	②	まとめ 3	⑧			まとめ 4	⑩		
まとめ 6	⑤	まとめ 4	⑥			まとめ 5	⑮		

また、15とおりのライン別に実習記録の原文をあげてみると、

① 「天候」から「今日の理解」へ

A-1, B-1, C-1, D-1, E-1

② 「子どもの姿」から「子どもの理解」へ

A-2, A-7, A-8, A-9, Aまとめ3, Aまとめ5, B-5, B-7, B-8, B-11, B-12, C-11, C-12, Cまとめ1, D-6, D-7, D-8, D-10, Dまとめ2, E-11

③ 「子どもの姿」から「保育者の理解」へ

B-8, C-13

④ 「子どもの姿」から「保育環境の理解」へ

A-2, A-13, B-10, C-9, D-5, E-6

⑤ 「実習生の係わり」から「子どもの理解」へ

A-1, A-4, Aまとめ1, Aまとめ4, Aまとめ6, B-5, B-6, C-8, C-10

⑥ 「実習生の係わり」から「保育者の理解」へ

Bまとめ4, Eまとめ2

⑦ 「保育者の係わり」から「子どもの理解」へ

B-5, Cまとめ2, Dまとめ3

⑧ 「保育者の係わり」から「保育者の理解」へ

A-3, A-8, Aまとめ2, B-3, B-4, B-8, B-9, Bまとめ2, Bまとめ3, C-7, C-11, D-6; D-7, D-9, E-4, E-12, E-13

⑨ 「保育者の係わり」から「保護者の理解」へ

D-8, D-9, Dまとめ1

⑩ 「保育者の係わり」から「実習生への配慮」へ

Cまとめ3, D-9, D-10, Dまとめ4

⑪ 「環境構成」から「子ども理解」へ

A-5, A-6, A-13, B-4, B-9, D-4, D-5, E-6, E-7, E-8, E-9, E-11

⑫ 「環境構成」から「保育者の理解」へ

D-2, E-13

⑬ 「環境構成」から「保護者の理解」へ

D-3, B-1

⑭ 「環境構成」から「実習生への配慮」へ

D-1

⑮ 「環境構成」から「保育環境の理解」へ

A-5, A-6, A-10, A-11, A-12, A-13, B-1, B-2, B-10, B-11, Bまとめ1, C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-6, C-8, C-10, C-12, D-4, Dまとめ5, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5, E-10, Eまとめ1

6 ま と め

保育實習の体験は、様々な理解へとつながったわけであるが、その理解を大別すると5つあげられる。

「目の当たりにしたもの」そのものをより深く「理解したもの」となったケース

- ①…今日はどんな日なのかを捉えようとしている。保育活動が今日ならではの天候のもとで計画されていることを理解した。
- ②…子どもの遊んでいる姿を見て、子どもを理解している。子どもと子どもの人間関係を見て、子どもへの理解を深めている。子どもの生活する様子を見て、子どもにとって日常生活の大切さを理解している。「子どもの姿」に目を見張り、しっかり観察することで、子どもの心身の育ちを発見している。
- ③…学生は、保育者が子どもの遊びを援助し、生活面で世話をし、安全のために配慮するなど、きめ細やかな動きを知ることによって、保育者の役割を深く理解している。
- ④…保育環境は、遊びの広がりのために構成され、ぬくもりのある生活のため構成されている。学生はこのことを知り、保育の環境づくりの大切さを実感する。

保育現場の人と人との係わりを通して、より深く相互の人を理解したケース

- ⑤…学生自身が子どもに直接働きかけても、子どもがうまく行動してくれないであろうと思われる光景の時、保育者がさりげない援助や言葉をかけることで、子どもが納得して行動していく。保育者はさすがにすごい、とその専門性を理解していく。
- ⑥…保育者の子どもへの話しかけ方、接し方に対して、子どもが反応する。そのプロセスを通して、子ども理解がより深まっていく。
- ⑦…保育者は子どもに対して保育を行うだけではなく、保護者に対して就労と育児の両立支援のために様々な援助を行っていることを知った。
- ⑧…保育園生活を知るために、保育實習の場を保育園から与えられただけではなく、実習生に対して保育者が心遣いをして下さった。保育園がアットホームな雰囲気のある現場であることを理解した。

物、つまり環境構成によって保育に携わる人々を深く理解したケース

- ⑪…保育園内の環境がどのように構成されているか、なぜそこにそのものがあるのか、などから、子どもの遊びや生活が浮かび上がり、子ども理解へとつながった。また、離乳食というものを通して、子どもの食生活や子どもの発達を理解している。
- ⑫…離乳食を通して保育者の仕事を理解し、保育者の出で立ちを見て保育者の役割を理解している。
- ⑬…子どもを預けに来る保護者に対しての環境設定がされていることで、子どもを育てることは、保護者との連携の大切さが何よりであることを理解している。
- ⑭…自分たち実習生に対して、実習園が歓迎のための準備をしていた。環境構成というハードは、歓迎するという心のソフトを表していることを体験し、理解した。

健やかな子どもの育ちを保障する物的環境を理解するケース

- ④…子どもの姿を通して、衣服はどうあったらいいかを考え、遊んでいる姿を通して、保育空間を考え、また安全確保のあり方などを深く理解している。

実習生自らが係わったことで、保育現場の人をより深く理解したケース

- ⑤…実習生が自分から思い切って子どもに働きかけたことで、子どもは反応した。このような直接体験を通して、子どもの理解が印象深く広がっている。
- ⑥…実習生が自分から話しかけたり、活動に参加したことで、自分と保育者の働きかけの対比を行い、保育者を理解した。